

# 8. 市民主体・連携 で幸せ実感

幸 約 27 新たなタウンミーティングとして、世代別や職業別の対話形式による政策形成を行います。

## 主な取組実績

- ・新たに「世代別」「職業別」のタウンミーティングを実施
- ・1期目からの通算で開催回数100回超、100回目は高校生タウンミーティングを開催
- ・100回を記念して「市長！聞いてや！私の思いin松山城」「飛ばそうや！夢ひこうき！in松山城」を開催



▲ 100回目のタウンミーティング  
(松山東高等学校)

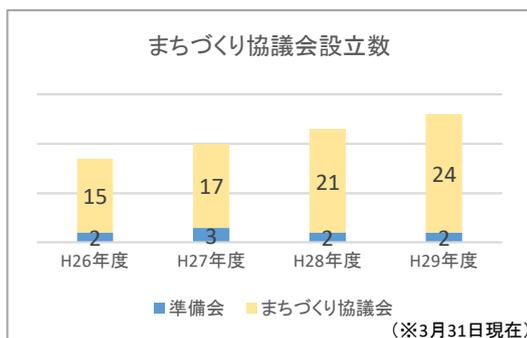


▲ 市長！聞いてや！私の思いin松山城

幸 約 28 まちづくり協議会の結成や活動を支援します。市民の「意識調査」や「まちづくり提案制度」を実施して市政へ反映するなど、市民が主役のまちづくりを展開します。

## 主な取組実績

- ・まちづくり協議会の結成を支援し、4年間で新たに13地区の11協議会（準備会含む）を設立
- ・第6次総合計画に掲げる各施策の重要度、満足度、優先度について毎年、市民意識調査を実施
- ・子どもや若者のまちづくり活動を支援するため、次世代育成支援事業（まちづくり提案制度）を開始

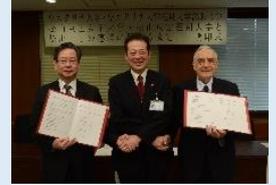


▲ まちづくり提案制度 審査会

愛媛県と松山市の緊密な関係のもと、県・市の連携政策をさらに推進します。市長会や他都市と連携した効率的で広域的な政策、産・学・官が連携したオール松山の政策、姉妹都市や友好都市、台北市と連携した国際的な政策を推進します。

### 主な取組実績

- ・愛媛県と県内20市町の連携はこれまで176施策を実施、4年間で86の新規施策を創出
- ・岡山市、広島市、高松市とともに「瀬戸内4県都 市長会議」を発足
- ・市内4大学2短大との連携強化
- ・「松山創生人口100年ビジョン」と「松山創生人口100年ビジョン先駆け戦略」策定、産官学金労言のオール松山で地方創生の施策を推進
- ・近隣5市町と「連携中枢都市圏」を形成
- ・市内121の企業、団体とともに「イクボス合同宣言」
- ・平澤市（韓国）との友好都市提携10周年、サクラメント市（アメリカ）との姉妹都市提携35周年を記念して交流事業を実施、フライブルク市（ドイツ）と環境分野で交流
- ・台北市との友好交流協定期間を延長し、再調印
- ・台湾からの観光客数は、交流事業を開始した平成21年と比較して18.8倍の4万3,300人（H28）



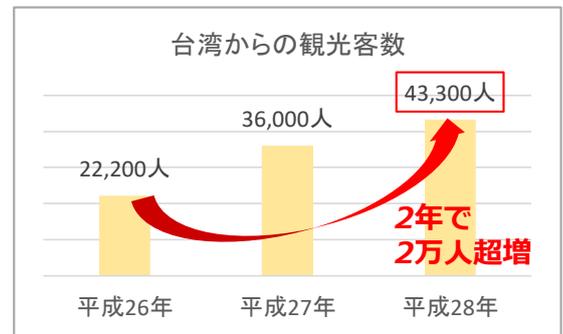
▲ 聖カタリナ大学・同短期大学部、松山東雲女子大学・同短期大学と連携協定締結



▲ イクボス合同宣言式



▲ 台北市との友好交流協定再調印



行政改革の推進や財源の確保、施設のマネジメントなどによって持続的・効率的な行財政運営を行います。職員のコンプライアンスを徹底して市民に信頼される市役所づくりを行います。

### 主な取組実績

- ・「松山市人材育成・行政経営改革方針」を策定し、「行政改革」と「人材育成」を一体的に推進
- ・平成29年度当初予算編成で121の事務事業を見直し、約6億円の財源を捻出
- ・小中学校へのエアコン整備にPFI手法を採用し、コスト削減、工期短縮を実現
- ・市職員数は、他の中核市と比較して少ない水準を維持
- ・「健全な財政運営へのガイドライン」に定める全数値目標をクリアし健全財政を維持（H28年度決算）
- ・「松山市公共施設再編成計画」を策定
- ・全職員を対象とした公務員倫理研修や、不祥事の再発防止に向けた8つの取り組みなど、職員のコンプライアンスを徹底